

孝子保丸 辰月
 渡城古八日記覽帳
 孝子保丸
 孝子保丸

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



享保九辰九月

後撰入目次及人帳

第二書

本野村
惣中

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 3 6



諸藩大寺寺目代衣也之刑令之公之之判
村と入黄丸の向村之山海も此法
し

享保九年辰九月六日所宣也若社僧等儀下近

宮井宮様小形村の口寢や山寺の地古来の

社中仲間と住吉の執事等由寢戸之儀也

以書宣事同月十八日新村の者共に出願法

集之京の新村の者共に出願法

地宮様は御徳也物之思有るは色也

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



又...
 遠有仕者有之...
 一又...
 一其...
 一...
 一...
 一...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



奉與之... 刑... 官... 明... 元... 元... 元...
... 古... 夜... 道... 元... 元... 元...
... 官... 存... 級... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...

會

... 元... 元... 元... 元... 元... 元...

元

元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...
... 元... 元... 元... 元... 元... 元...

木野愛宕神社所蔵史料

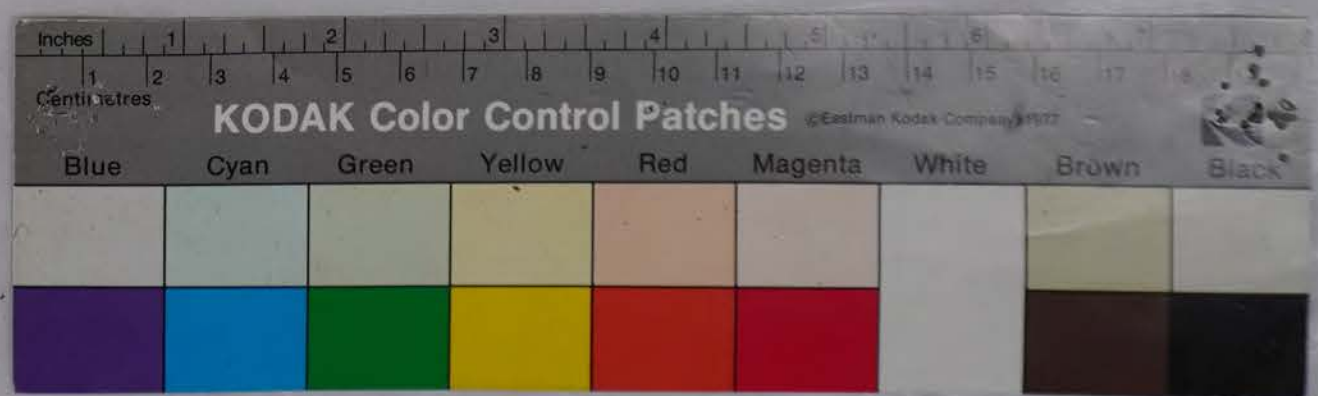
箱 4 - 3 6



漸、貞亨式年... 上之銀... 中... 田... 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 年... 月... 日... 元... 慶... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...
 一... 年... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢... 山... 貢...

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 一 3 6



軒材、有大御所様、以彩、其去辰十月廿二日、
 出、取大覚寺様、目代中、
 此後、
 一、
 寺、
 御神、
 十、
 一、
 今、

一、
 本、
 上、
 一、
 一、
 首、
 石、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此所採分法何也... 右社領之... 後立林... 宣保十已五月七日

宣保十已五月七日

右社領 神職者共

御奉到抄

右、口上書事... 御上法一所... 糖札之...

宣保十已五月七日

上月十日... 宣保十已五月七日... 此集有之...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



標札 在卷中 爲多有 以 漢 漸 而 稱 述 極 先 漢 帝 九
何 之 差 始 而 任 之 意 出 身 以 法 事

日月 廿八 日 廣 志 廣 志 稱 述 極 先 漢 帝 九
廿八 日 廣 志 廣 志 稱 述 極 先 漢 帝 九
廿八 日 廣 志 廣 志 稱 述 極 先 漢 帝 九
廿八 日 廣 志 廣 志 稱 述 極 先 漢 帝 九

新 村 五 神 社 神 祇 山 入 進 所 叙 之 事
廿九 日 月 上 廿 二 日 分 開 兩 日 至 宿 在 進 所
廿九 日 月 上 廿 二 日 分 開 兩 日 至 宿 在 進 所

八月 十六 日

九月 二 日 東 山 神 祇 山 嶺 宿 山 皇 孫 項 戴 任 依
去 二 月 新 交 之 上 七 通 之 事 及 記 錄 亦 詳 述 於 極
皇 孫 入 山 之 事 亦 詳 述 於 一 年 事 之 上 皇 孫 入 山 之 事
皇 孫 入 山 之 事 亦 詳 述 於 一 年 事 之 上 皇 孫 入 山 之 事

師 狀 之 文

一 城 州 愛 宕 郡 五 神 社 進 所 叙 之 事 神 祇 山

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 3 6



八の... 音出... 眼...
 今日... 影...
 片... 影...
 其... 影...
 交... 影...
 上...
 皇保十... 九月六日
 八...
 木の...

刑... 影...
 其... 影...
 又... 影...
 因月...
 其... 影...
 傳... 影...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



一物是刑部令信不... 何れ何れ... 十九年... 是方...

事也... 角... 何れ... 是方... 文部...

文部... 刑部... 何れ... 是方... 文部...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

何れ... 是方... 文部... 刑部... 何れ...

延享元年十一月八日

木野愛宕神社

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



木野愛宕神社

丁卯年正月廿五日

延享二年正月

御倉儀格 申上 山 林 氏 字

葛野郡野宮上尊尊遷之標札 謹記 康山 申 覽

一 渡海野宮 申 神 社 於 申 年 於 村 申 申 申 申 申 申

此 味 上 和 談 仁 漸 林 氏 申 上 申

刑 乃 明 皇 院 申 謹 記 標 札 謹 記 謹 記 謹 記 謹 記 謹 記

御 倉 儀 格 申 上 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

高 皇 原 上 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申 申

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



丁卯年八月初十日
仰候人及之是非正之也

原方 正陽門新橋江段人林野馬及河野

上野等即上之正所之事之我及以之月用之我及

此章二之三月十日 仰公候極正新上之我及

先成之下

廿二月初十日 候方二日 候社社公

此是正所候
仰公候極正新上之我及

仰公候極正新上之我及

仰公候極正新上之我及

一野字大野神會者若大野神會社之我及 仰公候極正

候而若吾面正候之書員者之候社之我及 仰公候極正

候而若吾面正候之書員者之候社之我及 仰公候極正

候而若吾面正候之書員者之候社之我及 仰公候極正

候而若吾面正候之書員者之候社之我及 仰公候極正

候而若吾面正候之書員者之候社之我及 仰公候極正

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 3 6



ふくまきし世の初有るものなり

許羽人木の村

延享二年七月廿日

石山寺
土佐守

口分
市藏者

所領の條

右の地口領の地七口、土著衣判は、或は八口、村は、
壬辰條、所領人、村數は、
由布口、上

同七年、即、或、年、上、
望谷、
此の地、
河野、
此の地、
在望谷、
同十一年、
近江、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



在...月...日...
二月十一日

右...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

...
...
...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



一 堀河町神宮寺...
 在皇武...
 昔在...
 相傳...
 在...
 乃...
 乃...
 乃...

御寺新編

如皇武...
 以上...
 幸...
 有...
 因...
 正...

二月廿七日

本野愛宕神社
 本野愛宕神社

本野愛宕神社

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



又... 何... 事... 古... 文... 七... 通... 四... 次... 入... 山... 但... 井... 岡... 石... 武... 隆... 文... 長...
 本... 坊... 隆... 文... 殿... 田... 院... 隆... 文... 日... 山... 隆... 文... 月... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 真... 谷... 隆... 文... 隆... 文... 右... 務... 隆... 文... 山... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 有... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 別... 小... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...

一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...
 一... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆... 隆...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



正長 其前 麻口 并 神原 山 神 護 書 函 不 有

人 亦 在 之 心 事 下 一 事 子 細 派 之 以 以 派 派 派 派 派 派

以 實 勿 一 一 派 派 有 之 以 乃 亦 細 派 上 之 乃 以

右 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上

木野村

延喜式 元年 七月 庚 申

右 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上
木野村
延喜式
元年
七月
庚申

神原山

右 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上 右 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上

書 指 其 有 之 乃 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上

又 一 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上

正長 其前 麻口 并 神原 山 神 護 書 函 不 有

一 派 列 首 部 務 上 之 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派

神 護 書 函 不 有 之 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派 派

正 長 其 前 麻 口 并 神 原 山 神 護 書 函 不 有

右 之 色 少 矣 打 邊 少 上 以 以 上

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



武吉神社在社刊、乃、古、德、化、威、紅、神、編、旨、寺、願、或
 在、右、面、誌、年、次、通、目、本、山、州、司、祭、兩、也、中、以、採
 以、札、花、如、事、事

一、先、年、寺、社、以、改、之、意、山、石、為、社、之、法、書、為、寺、社、所、持、也、
 一、即、社、及、其、破、之、所、藏、之、札、由、村、社、藏、之、有、者、矣、各、人
 分、社、所、持、之、誰、子、則、所、理、社、在、之、亦、近、矣、西、近、矣、在、
 而、村、社、藏、之、者、在、不、知、事、事、以、此、是、還、矣、古、例、也、

一、先、年、寺、社、以、改、之、意、山、石、為、社、之、法、書、為、寺、社、所、持、也、
 一、即、社、及、其、破、之、所、藏、之、札、由、村、社、藏、之、有、者、矣、各、人
 分、社、所、持、之、誰、子、則、所、理、社、在、之、亦、近、矣、西、近、矣、在、
 而、村、社、藏、之、者、在、不、知、事、事、以、此、是、還、矣、古、例、也、
 一、先、年、寺、社、以、改、之、意、山、石、為、社、之、法、書、為、寺、社、所、持、也、
 一、即、社、及、其、破、之、所、藏、之、札、由、村、社、藏、之、有、者、矣、各、人
 分、社、所、持、之、誰、子、則、所、理、社、在、之、亦、近、矣、西、近、矣、在、
 而、村、社、藏、之、者、在、不、知、事、事、以、此、是、還、矣、古、例、也、
 一、先、年、寺、社、以、改、之、意、山、石、為、社、之、法、書、為、寺、社、所、持、也、
 一、即、社、及、其、破、之、所、藏、之、札、由、村、社、藏、之、有、者、矣、各、人
 分、社、所、持、之、誰、子、則、所、理、社、在、之、亦、近、矣、西、近、矣、在、
 而、村、社、藏、之、者、在、不、知、事、事、以、此、是、還、矣、古、例、也、
 一、先、年、寺、社、以、改、之、意、山、石、為、社、之、法、書、為、寺、社、所、持、也、
 一、即、社、及、其、破、之、所、藏、之、札、由、村、社、藏、之、有、者、矣、各、人
 分、社、所、持、之、誰、子、則、所、理、社、在、之、亦、近、矣、西、近、矣、在、
 而、村、社、藏、之、者、在、不、知、事、事、以、此、是、還、矣、古、例、也、

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 3 6



右側の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、
右邊の山形に及ぶ高嶺は、

一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、
一右邊社及び破山、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



古宮所山に在りて神宮標遺跡中より一乳指上は
子世承承と記すに在り此指由法書不持任有以
今又此指を以て何者歟香と有之其無誤非誤の上
は是は遺跡味と上と云ふ社廷と云ふは勿論社後之
有之り其方其時やと云ふに依りて其指有二三
之を二七二月あり

和名

アノ村

伊豆
久米
久米
久米

石の書月石等と云ふ未何物否其意を云ふ
所は遺跡味と云ふ社廷と云ふは勿論社後之

伊豆 久米 久米 久米

古宮所山に在りて神宮標遺跡中より一乳指上は

子世承承と記すに在り此指由法書不持任有以

今又此指を以て何者歟香と有之其無誤非誤の上

是は遺跡味と上と云ふ社廷と云ふは勿論社後之

伊豆
久米
久米
久米
久米
久米

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



右の紙片を所蔵し、所蔵人秘蔵之類、

此紙片は、所蔵人秘蔵之類、

同月十日

所蔵人秘蔵之類、

東海道の右官報、有在皆、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

有在、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

馬分、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

口、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

作、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

取、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

存、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

人、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

が、其物亦、同、所蔵人秘蔵之類、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



ありく繩掛んとく、右指之方是非は、
 事非、我知人、許汝、有、
 名達、有、大、是、花、
 之、前、川、
 明、
 高、人、志、
 梅、子、
 我、
 上、
 方、
 梅、
 上、
 以、
 日、月、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

四月十四日

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

又追辨に申す。任事又と由人軍令に於ては。臣竊
 とし。以て軍令に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に
 任事に於て。追辨に申す。任事に於て。追辨に申す。

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



又旨不始心反事初時のり山嶽を布飛又礼少を程
 村方捕素仁明目事初仕事全日格と宿乃て語終又
 終り世語とい 以世文好亦たは村方事至りい
 先上り致り礼に反 野分山社乃ち成りい 去年
 子九月公家村布和村乃上事書い上正月仕分と血乾
 下と和脂の子年時成度仕い格と宿乃て語終又い
 後近文、矣、山嶽廻り上嶽下世語二千〇年上上書
 神に有りあさひ月名事知仕い世事い先年近文
 山嶽方山嶽法有りい人後世に上り人何事著記也
 至存い尚子二月三傷瀆所事宿道役部、中世
 西岸方山嶽村、世に承り近文、兼、山嶽下布和村、
 事記仕方山嶽、下、事、南、四月十二日、瀆、所、事、宿、道、
 役、部、所、事、三、井、下、格、事、宿、道、事、今、上、布、和、村、事、
 双方、神、人、在、事、格、事、宿、道、事、宿、道、事、宿、道、事、
 年、山、嶽、村、事、有、事、人、有、事、宿、道、事、宿、道、事、
 上、山、嶽、村、有、事、人、有、事、宿、道、事、宿、道、事、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此處所記之事實乃由... 後有... 及... 禮...
 以... 上... 御... 御... 遠方... 我... 御...
 有... 同... 人... 宇... 會... 上... 御... 宇... 御... 宇...
 以... 未... 在... 御... 御... 御... 御... 御... 御... 御...
 乃... 同... 月... 廿... 日... 少... 御... 村... 上... 有... 其... 御... 村... 者... 亦... 之... 又...
 蓋... 前... 右... 面... 人... 宇... 會... 上... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 之... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 則... 古... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 外... 山... 知... 入... 矣... 也... 仍... 何... 御... 遠... 宵... 任... 乃... 故... 以... 是... 此... 友...
 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 且... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 上... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 乃... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 此... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...
 可... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇... 御... 宇...

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 - 3 6



野宮神社令殿上以知一ノ新ノ形ノ事
 有之由世二月之祭行守以所ノ新社
 以祭事高田四月十日沙戴洋ノ祭事
 初終ノ事沙寺祭務操一云ノ事所ノ
 長ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 有之由所ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 以ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 一ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 其ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 九ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 沙ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 心ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 有之由所ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 有之由所ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 有之由所ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事
 有之由所ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事ノ事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此書は、
 四月八日、
 馬場、
 夜、
 平、
 心、
 札、
 石、
 此、
 向、
 棟、
 通

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



平下... 石... 命... 木... 海... 戸...
の... 物... と... 中... 一...
七... 流... 天... 時...
一... 一... 一... 一... 一...
一... 一... 一... 一... 一...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



有死之... 倭之... 神祇...
 竹持... 湯... 寺村... 寺...
 竹持... 持... 湯... 寺...
 ...
 入... 湯... 寺...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



一、安野松村神藏と云ふと、
入及、
神藏
採孔
は、
采
介、
波と採孔
采計
神、
采自
中
合、
采、
采
采

采計
神藏

九、
采計
神藏
采計
神藏

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



三陽清浄寺様より

古書
5
分

六月十九日 追分より少保へお家より道

筋よりお布あつて五尺一本許村より者お

りて今一魚沼より成保より新よりお

おしり成よりお布あつて五尺一本許村より者お

りて今一魚沼より成保より新よりお

おしり成よりお布あつて五尺一本許村より者お

りて今一魚沼より成保より新よりお

おしり成よりお布あつて五尺一本許村より者お

りて今一魚沼より成保より新よりお

おしり成よりお布あつて五尺一本許村より者お

りて今一魚沼より成保より新よりお

木野愛宕神社所蔵史料

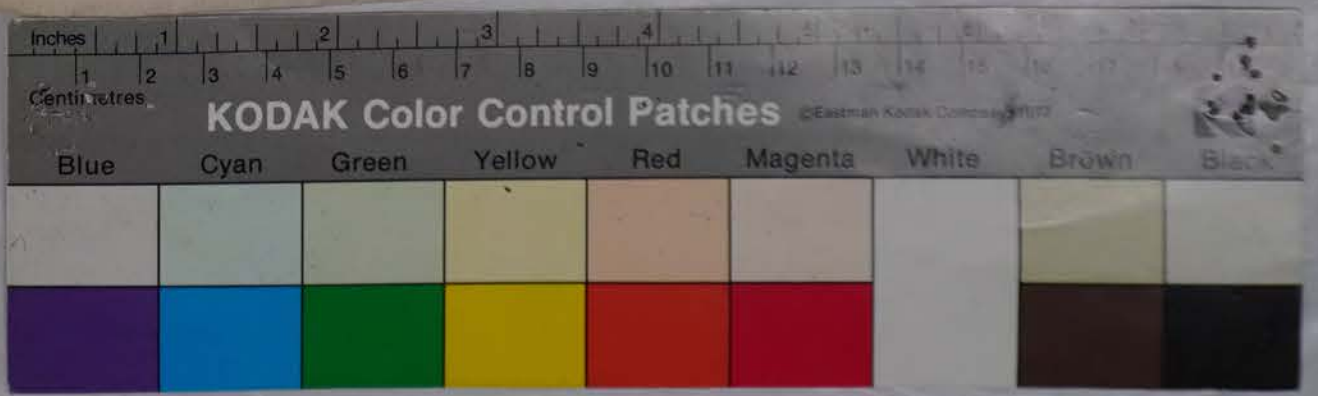
箱 4 - 3 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), arranged in vertical columns on two pages of aged paper. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive script.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



Handwritten Japanese text in kuzushiji script, spanning two pages of an open book. The text is arranged in vertical columns from right to left. It appears to be a historical record or a formal document, possibly related to the shrine mentioned in the caption below. The script is dense and characteristic of the Edo or Meiji periods.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



一 於此言其事也衣沙社遠月書入仕也
言其事也衣沙社遠月書入仕也
言其事也衣沙社遠月書入仕也
言其事也衣沙社遠月書入仕也
言其事也衣沙社遠月書入仕也

林野馬柳

衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

衣沙社遠月書入仕也

衣沙社遠月書入仕也

衣沙社遠月書入仕也

衣沙社遠月書入仕也

言其事也衣沙社遠月書入仕也

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 一 3 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a historical document or letter. The text is arranged in vertical columns on two pages. The right page contains approximately 12 columns of text, and the left page contains approximately 12 columns. The ink is dark on aged, yellowish paper.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



十月廿三日。衣類しき衣類之田舎にて
本町村の物由家にてしき田舎にて
此作の由しき東屋敷の由しき田舎にて
弓矢川にてあしひの由しき田舎にて
病氣本懐しきお徳の由しき田舎にて
しき田舎にて老方看にたしき田舎にて
しき田舎にてしき田舎にて
十二月十六日。衣類之田舎にてしき田舎にて
朝村の由しき田舎にてしき田舎にて
衣類之由しき田舎にてしき田舎にて
是を由しき田舎にてしき田舎にて
しき田舎にてしき田舎にて
衣類之由しき田舎にてしき田舎にて
衣類之由しき田舎にてしき田舎にて
衣類之由しき田舎にてしき田舎にて
衣類之由しき田舎にてしき田舎にて

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



其の由は、由緒ありしに、
 是よりおれ、のり、
 集むるに、二月八日、
 本所村、
 是よりおれ、
 中、
 其の由は、
 二月十三日、
 一野宮、
 其の由は、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



伝のり 依りし 市 建 々々々々々々々々々々々々

延喜五年甲午卯二月十三日

木野村

衣必之云云云云

衣必之云云云云 林 敷 々々々々々々

日月十日 衣必之云云云云 木野村

小野村 市 敷 々々々々々々 市 敷 々々々々

と 市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々

木野村

日月十日

小野村

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

市 敷 々々々々 市 敷 々々々々

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



今更に申すに、此の通し書に、孫に、おれが
 國より、之に、作ら、後、の、事、云、り、た、り、也、
 大、に、お、れ、の、書、教、を、授、け、し、所、に、中、心、を、
 扱、り、申、す、所、に、此、の、書、を、亦、承、り、て、
 之、を、如、く、申、す、所、に、亦、承、り、て、
 昔、月、仕、り、た、り、し、所、に、亦、承、り、て、
 日、に、お、れ、の、授、け、し、所、に、亦、承、り、て、
 三月、廿、八、日、

此の書は、

一、部、官、也、者、亦、社、乃、大、破、り、り、と、遠、く、
 之、成、る、所、に、八月、廿、八、日、と、同、く、亦、承、り、て、
 此、の、書、を、亦、承、り、て、亦、承、り、て、
 ハ、是、と、昔、月、お、れ、の、書、を、亦、承、り、て、
 之、由、り、何、下、り、亦、承、り、て、亦、承、り、て、
 之、由、り、亦、承、り、て、亦、承、り、て、
 之、由、り、亦、承、り、て、亦、承、り、て、
 亦、承、り、て、亦、承、り、て、亦、承、り、て、
 亦、承、り、て、亦、承、り、て、亦、承、り、て、

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



中...
...
...
...
...

心...

卯二月廿八日

...
...

衣...

大...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...

...
...
...
...
...
...
...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



中ノ乳トシテ作ルル事村ノ方ニシテ
モ即チトシテ之ニテ少月トシテ
亦無クシテ其ノ方ニテ作ルル事
付テ其ノ方ニテ作ルル事

三月廿八日 四月十日 今ノ書付

心ノ方ニテ作ルル事村ノ方ニテ
亦無クシテ其ノ方ニテ作ルル事

作ルル事村ノ方ニテ作ルル事

作ルル事村ノ方ニテ作ルル事

作ルル事村ノ方ニテ作ルル事

作ルル事村ノ方ニテ作ルル事

作ルル事村ノ方ニテ作ルル事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此の文と少月とに可なりと云ふ
 河上は横井の如く此の文と云ふ
 此子梅は新田の道月略殿と云ふ所
 小野の如くは所請の如く云ふ所の
 月あつたに西村一の沖城に云ふ所
 新田の如くは所請の如く云ふ所の
 此の如くは所請の如く云ふ所の
 卯亦月廿九日
 此の如くは所請の如く云ふ所の
 卯亦月廿九日

卯亦月廿九日
 卯亦月廿九日

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此作印ハ社蔵ニ由リテ之ヨリ作中
印者ヤカシクモ正社乃チ修リ上達月
ハ邊力申コト少シクモ八月ト修コト少
クシトモ少病自レ申コト少クモ少
クモ一少病申コト少クモ一月ト修
其ノ付ト達月延シ修中ニ延シ修中
作印コト久ト達月お仕年延シ修
下社印ハ社蔵ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
此ノ付ト達月延シ修中ニ延シ修中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中
延シ修中ニ由リテ之ヨリ作中

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



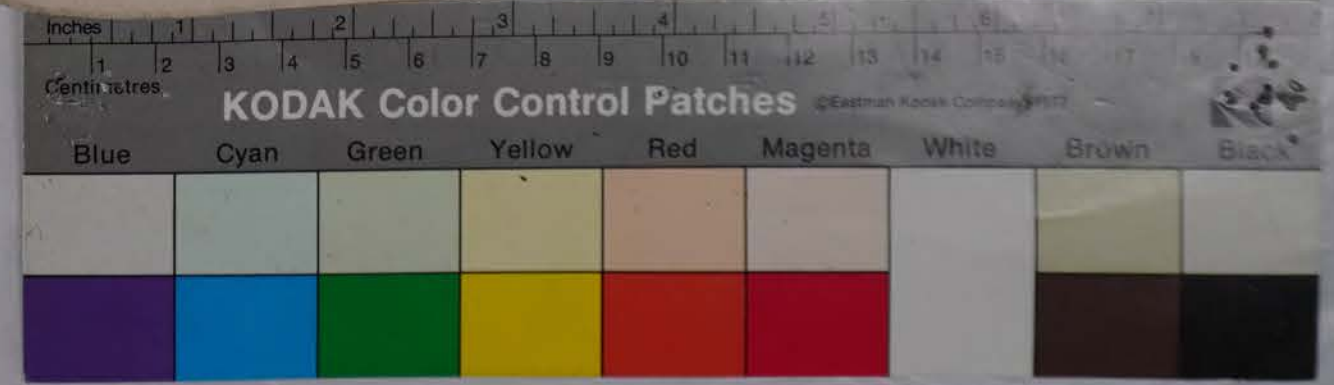
寛文九年八月廿二日 可成寺にてより新井
中へ上道月廿八日 此作白紙に新法由り
あり口紙おぬりしに廿八日 廿九日 廿日 廿一日
二十三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日
廿九日 三十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日
廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日
元禄九年八月廿二日 可成寺にてより新井
中へ上道月廿八日 此作白紙に新法由り
あり口紙おぬりしに廿八日 廿九日 廿日 廿一日
二十三日 廿四日 廿五日 廿六日 廿七日 廿八日
廿九日 三十日 廿一日 廿二日 廿三日 廿四日
廿五日 廿六日 廿七日 廿八日 廿九日 三十日

新井中へ上道月廿八日

可成寺にてより新井

木野愛宕神社所蔵史料

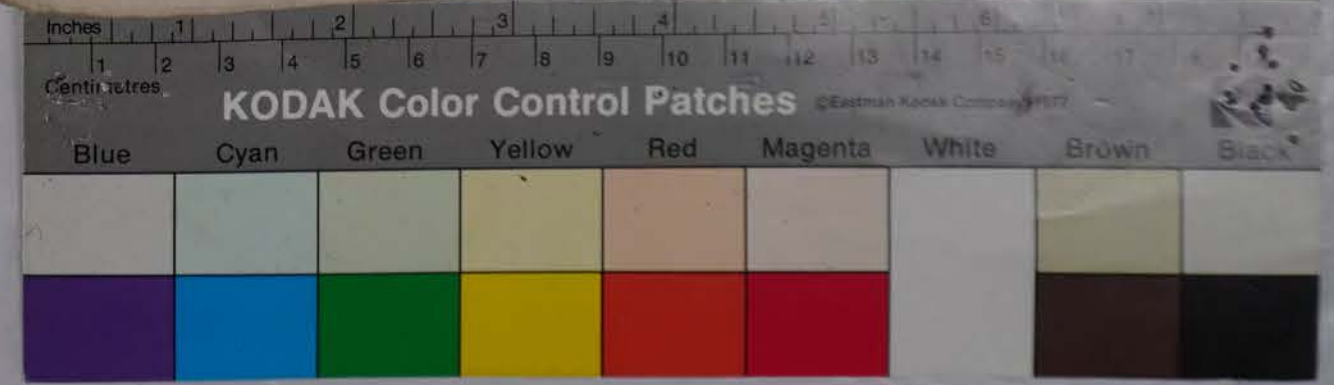
箱 4 - 3 6



昔為鳥類 衣身有皮をたぐりて
 衣を新に作るに大 昔鳥類を
 衣にして人形す 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに
 衣を新に作るに 衣を新に作るに

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



手紙の宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...
宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は... 宛先は...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



新由なる経歴をてえ所居古往若達しと云承り
由新なる御方の御所居所居を御蔵古往若達
御社内可く仕別被取申上言仕書後内陳り取
見仁平と云云六人一選入用、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、四月
十八日木の材の御材所居を御蔵古往若達、
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達
御所居所居をてえ御蔵古往若達、御蔵古往若達

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



乙字は御願してあり能成り後下近江に
 千以印巻もつゝおくゆきあるはあはき出仕
 後ひきつけられし新法に下近江文部がさき
 為しと二白汁蔵し若くは印取置たり
 ちしとて三月末は田の村より作向
 小芝居のりし御願もつゝ後下近江に
 印は意に御願しては御願もつゝ後下
 近江の御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に
 御願もつゝ後下近江に

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



村中蔵し者ある時此蔵し者お替りて
 此令新法にり仰りて後と八軒村此蔵し
 者も此令一とてお候もそし此法にり後
 も難心持年竟以りてとて合あり村此
 蔵しとて竹交ある法にりてとて此意
 此に法にりて仰り此法を候そとて此法
 お替りて野村此蔵しに候おきや此に八軒村は
 此に法にりて仰り此法を候そとて此法

此に法にりて仰り

此に法にりて仰り

此に法にりて仰り

御奉行様

此に法にりて仰り

右にお候にりて十月二日の由書判取書
 仕八軒村お候にりて 右にお候にりて
 此に法にりて仰り

十月二日

此に法にりて仰り

此に法にりて仰り

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



わきよの井下後す披沙之有とては作
得いはあとの心より取附く事今心取附
て誰ん存く西沙有り採分は作後取
りよの心より取附く事今心取附
得いはあとの心より取附く事今心取附
て誰ん存く西沙有り採分は作後取
りよの心より取附く事今心取附
得いはあとの心より取附く事今心取附
て誰ん存く西沙有り採分は作後取
りよの心より取附く事今心取附
得いはあとの心より取附く事今心取附

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



寺のいしり作あきり然りぬるを之 衣し抄に
 林野る抄にしりて二十二年ころに何れ何れに寺
 印云儀様抄にぬるに相違り有るに記す
 ころも寺田、系うてま表に抄にぬるに寺
 官し、法中長本抄にぬるにぬるにぬるに
 二印にぬるに寺田にぬるにぬるにぬるに
 衣し抄にぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 法中長本抄にぬるにぬるにぬるにぬるに
 日記あるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 申す所ぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 本抄にぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 ぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 ぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 印十月四日。 十月十一日 ぬるにぬるにぬるに
 林野る抄にぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに
 印にぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるにぬるに

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



乙巳年十一月廿二日
 木野愛宕神社所藏史料
 十月廿二日
 乙巳年十一月廿二日
 木野愛宕神社所藏史料
 十月廿二日

木野愛宕神社所藏史料

箱 4 一 3 6



村中持節... 礼... 死... 一... 有... 以... 中... 作... 指... 通... 而... 二... 一... 中... 交... 交

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



とも作降ふとて後人にお教多し作降白
 子りてらふ
 あり後より教られたり候はれ候也然るに
 心ありてのりといふ人候は元年之由お朝使
 しく向に封子出使に支弁あると申取お教
 兵中より心ありてお教先々候はれ候は
 候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 成教多しありて候はれ候はれ候はれ候はれ
 申取お教多しありて候はれ候はれ候はれ
 湯取候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 心ありて候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 預り候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 林野に候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 らて候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ
 日月十七日
 一月廿七日
 人々候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ候はれ

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



八朝村一和し合州と務州利根人々
居し信主より号し中十言丸鬼白古面
此より出所多行しゆちる。少油はと
可くぬれたる中より二十時多許付者
丸虎之甲し湯取出たり。丸虎之尻下
川西條湯行人着林者存多し。丸虎
爲しゆりしと升を交す。丸虎は
池に居たり。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は
丸虎は多し。丸虎は多し。丸虎は

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



おれの中の心と身も有るは穢りしるま
こころでねれりまうくはれぬおとしり
ら作り給とハシイ後おれれ事申し
子も歎きやうけとハシイ後おれれ
まはすまのいへぬ又ハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ
おれれ事申しやうけとハシイ後おれれ

御代中表紙もあつた

林本もあつた

野宮井
九草

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 一 3 6



高野

明正の年并に東印後お出向の由を
お訊得て申上りの事なり

十一丁より

高野

お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事

お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事
お尋ねの事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

延喜式... 七ノ...
 ...
 ...

印奉り搦

...
 ...
 ...
 ...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho) on two pages of aged paper. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The right page contains approximately 10 columns of text, while the left page contains approximately 8 columns. There are some smaller annotations or corrections written in smaller characters interspersed within the main text.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



手紙のてしよに記し出れしにてあつるは
しは女東宮のちかひに女にうけしは
たつらあはるまはるれは女にうけしは
常はあはれしに女にうけしは
うけしは女にうけしは
ゆきあはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは

あはれしに女にうけしは

あはれしに女にうけしは

ゆきあはれしに

あはれしに女にうけしは

あはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは
あはれしに女にうけしは

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



一曰船山の...
 子...
 ツトウお...
 九...
 北...
 去...
 此...
 及...
 狩...
 花...
 為...
 陽...
 石...
 山...
 代...
 才...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a historical record or document. The text is written in a cursive style (sōsho) on aged paper.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a historical record or shrine document. The text is arranged in vertical columns on two pages of aged paper. The right page contains approximately 12 columns of text, and the left page contains approximately 12 columns. The characters are fluid and connected, typical of historical Japanese calligraphy.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...
 此の如く、徳治の令しむ事...

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



教しるるにせしむる事也 刻々其の儀を
行ふに宜しき事にて候にせしむる事也
と申す事ありし事にて候にせしむる事
一昨年申す事ありし事にて候にせしむる事
ちのてふ事ありし事にて候にせしむる事
その事ありし事にて候にせしむる事
中にもその事ありし事にて候にせしむる事
八條お尋ねの事にて候にせしむる事
ありし事ありし事にて候にせしむる事
たある事ありし事にて候にせしむる事
近頃のことありし事にて候にせしむる事
下すことありし事にて候にせしむる事
ありし事ありし事にて候にせしむる事
一もその事ありし事にて候にせしむる事
神代事ありし事にて候にせしむる事

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6



Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a historical record or shrine document. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The characters are fluid and connected, typical of historical Japanese calligraphy.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6

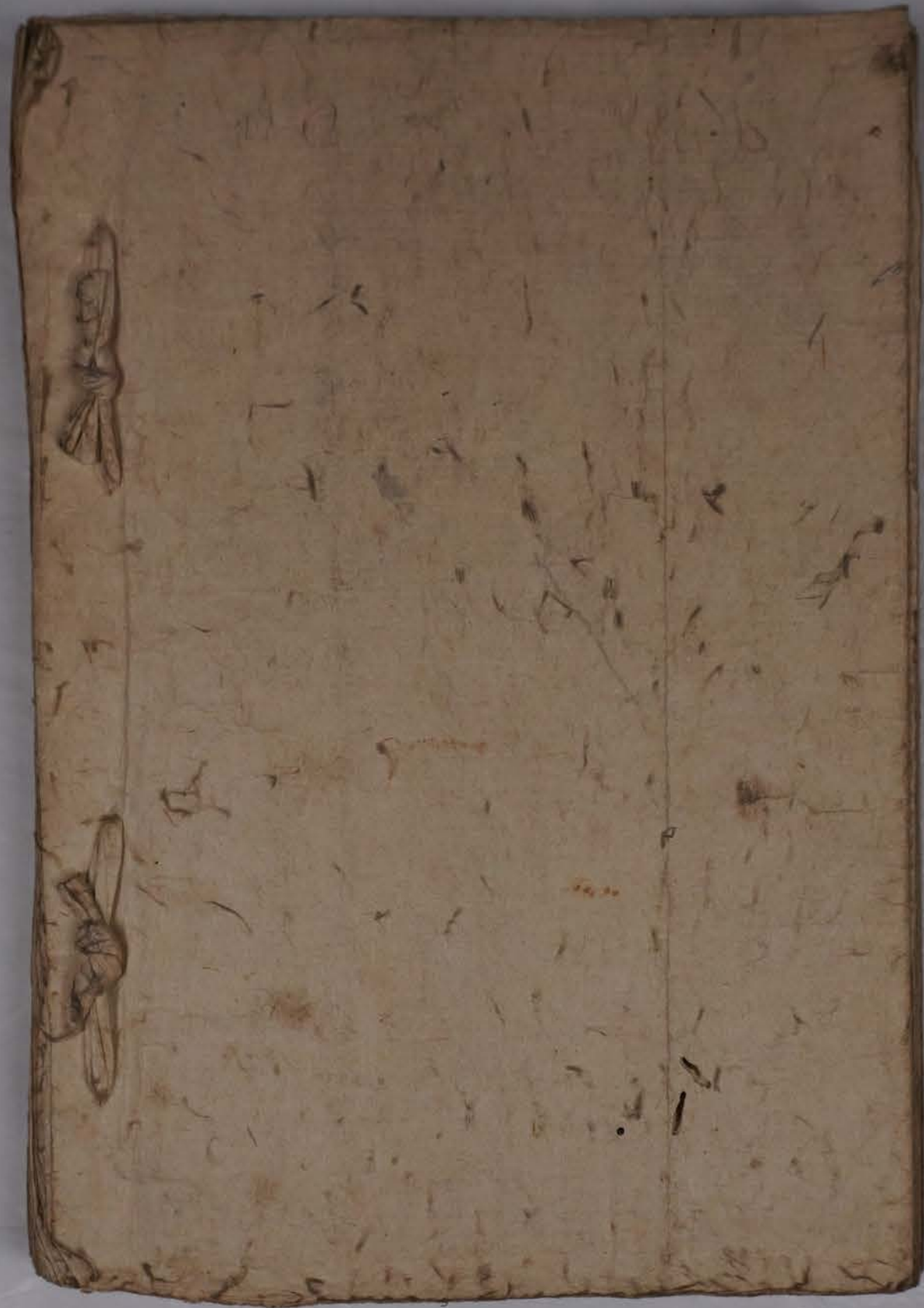


Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a historical record or shrine document. The text is arranged in vertical columns on two pages of aged paper.

木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6





木野愛宕神社所蔵史料

箱 4 - 3 6

